



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月4日

上場取引所 名

上場会社名 中部鋼鉄株式会社

コード番号 5461 URL <http://www.chubukohan.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 太田 雅晴

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役

(氏名) 村石 喜和

TEL 052-661-3811

四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日

配当支払開始予定日

平成23年12月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	23,813	10.0	1,374	31.1	1,408	25.1	854	7.8
23年3月期第2四半期	21,654	87.2	1,048	2.7	1,125	9.1	793	223.8

(注)包括利益 24年3月期第2四半期 753百万円 (18.1%) 23年3月期第2四半期 638百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	27.94	—
23年3月期第2四半期	25.43	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
24年3月期第2四半期	59,420		52,317		87.7
23年3月期	59,038		51,716		87.3

(参考)自己資本 24年3月期第2四半期 52,124百万円 23年3月期 51,538百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	7.00	—	5.00	12.00
24年3月期	—	5.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注)23年3月期第2四半期末配当金の内訳 普通配当金5円00銭 創立60周年記念配当金2円00銭

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	48,100	15.8	2,000	39.7	2,100	39.4	1,200	27.9	39.22

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期2Q	31,200,000 株	23年3月期	31,200,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

24年3月期2Q	601,005 株	23年3月期	601,005 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	30,598,995 株	23年3月期2Q	31,194,881 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
(7) 重要な後発事象	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災による甚大な被害、サプライチェーンの混乱、ならびに原子力災害の影響があったものの、企業の自助努力もあり徐々に経済活動は回復し、景気は持ち直し傾向で推移いたしました。しかしながら、長期化する円高や株価の低迷など、景気の先行きはきわめて不透明な状況が続いております。

鉄鋼業界におきましては、東日本大震災による需要落ち込みから徐々に回復基調で推移しておりますが、停滞が続く国内建設需要等、事業環境は依然厳しく、本年度4-9月の国内粗鋼生産量は5,331万トンと、前年同期比3.8%減となりました。

このような環境のもと、当社グループの主力セグメントである鉄鋼関連事業につきましては、建設向け需要は依然低水準であるものの、主需要先である建設機械、産業機械向け需要は回復傾向にあることから、需要家ニーズへの迅速かつ的確な対応に尽力し、受注量の確保に努めるとともに、販売単価の改善と効率的な生産に取り組んでまいりました。その他事業につきましてもそれぞれが積極的な営業活動を展開してまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における連結売上高は238億1千3百万円と前年同期比21億5千9百万円の増収となり、連結経常利益は14億8百万円と前年同期比2億8千2百万円の増益、連結四半期純利益は8億5千4百万円と前年同期比6千1百万円の増益となりました。

セグメントの業績は次のとおりです。

(鉄鋼関連事業)

当セグメントの主要製品である厚板は、東日本大震災や、その後のサプライチェーンの混乱等による受注減の影響を受けたものの、建設機械、産業機械向け需要への迅速かつ的確な対応や、販売価格改善努力等により、売上高は229億1千3百万円と前年同期比21億6千8百万円の増収となり、セグメント利益(営業利益)は12億5千7百万円と前年同期比3億3千万円の増益となりました。

(レンタル事業)

厨房用グリスフィルターのレンタル部門およびデザイン広告の製作等を行うサイン部門は、概ね順調な受注により、売上高は2億2千6百万円と前年同期比1千3百万円の増収となり、セグメント利益(営業利益)も4千7百万円と前年同期比3百万円の増益となりました。

(物流事業)

物流事業は、倉庫部門での設備拡大効果と主要顧客からの受注増により、売上高は1億6千8百万円と前年同期比1千5百万円の増収となりましたが、セグメント利益(営業利益)は6千万円と、前年同期比8百万円の減益となりました。

(エンジニアリング事業)

エンジニアリング事業は、積極的な受注活動を展開しましたが、売上高は5億5百万円と前年同期比3千8百万円の減収となり、損益も1千7百万円のセグメント損失(営業損失)(前年同四半期連結累計期間のセグメント損失(営業損失)は4千5百万円)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産状況

(資産の部)

流動資産は、265億3千2百万円で、前連結会計年度末より、11億6千4百万円の増加となりました。その主な要因は、売上高の増加により、受取手形及び売掛金が増加したことによるものです。

固定資産は、328億8千8百万円で、前連結会計年度末より、7億8千1百万円の減少となりました。その主な要因は、有形固定資産の償却が進んだことによるものです。

(負債の部)

負債は、71億3百万円で、前連結会計年度末より、2億1千7百万円の減少となりました。その主な要因は、支払手形及び買掛金が減少したことによるものです。

(純資産の部)

純資産は、523億1千7百万円で、前連結会計年度末より、6億円の増加となりました。その主な要因は、四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したことによるものです。

② キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、22億6千8百万円となり、前連結会計年度末より、17億5千2百万円の減少となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による収入は、9億9千4百万円(前年同四半期連結累計期間は7億3千9百万円の収入)となりました。

主として、売上債権の増加17億2千4百万円などの支出があったものの、税金等調整前四半期純利益14億2百万円及び減価償却費13億4百万円などの収入があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による支出は、24億7千7百万円(前年同四半期連結累計期間は22億5百万円の支出)となりました。

主として、有価証券及び投資有価証券の売却及び償還31億9千6百万円の収入があったものの、定期預金の預入33億6百万円、有価証券の取得11億円、及び有形固定資産の取得6億3千4百万円などの支出があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による支出は、2億6千9百万円(前年同四半期連結累計期間は3億8千万円の支出)となりました。

主として、長期借入金の返済額1億1千5百万円及び配当金の支払額1億5千4百万円などの支出があったことによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループの主力セグメントである鉄鋼関連事業、とりわけ当社の主力製品である厚板国内需要につきましては、東日本大震災による影響から比較的早期な立ち上がりを見せました建設機械・産業機械向け需要を中心に順調な回復へと向かっておりますものの、円高の長期化から内需をけん引する輸出産業の先行きに不透明感が出始めております。また、中国などの新興国のインフレ抑制策の影響による需要減や欧米の財政問題による世界経済の鈍化など下振れリスクが懸念されますほか、供給力を増した韓国・中国からの輸入も為替動向から増勢に転じております。一方、今年度下期の国内建設需要は東日本大震災後の復興需要が顕在化し、土木工事が増加する可能性も期待されています。

また、鉄スクラップ価格につきましては世界景気の先行き不透明感が強まり国際価格が下落しており、日本国内価格へも波及し下落へ転じていますが、欧州財政問題の進展によっては再び反転する可能性もありますので今後も注意深く見守る必要があります。

このような状況のもと、当期の業績予想につきましては平成23年10月26日公表の連結売上高48,100百万円(前連結会計年度比15.8%増)連結営業利益2,000百万円(前連結会計年度比39.7%増)連結経常利益2,100百万円(前連結会計年度比39.4%増)となる見通しであります。市場環境は非常に流動的と予想されますことから、今後、業績予想の修正を行なう必要が生じた場合には、速やかに公表いたします。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,126	4,480
受取手形及び売掛金	10,635	12,360
有価証券	4,195	2,801
商品及び製品	3,021	2,748
仕掛品	860	1,187
原材料及び貯蔵品	3,191	2,645
未収還付法人税等	34	—
繰延税金資産	239	256
その他	87	77
貸倒引当金	△24	△25
流動資産合計	25,368	26,532
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,658	7,500
機械、運搬具及び工具器具備品（純額）	19,563	18,917
土地	1,525	1,525
建設仮勘定	59	73
その他（純額）	5	4
有形固定資産合計	28,813	28,020
無形固定資産	139	130
投資その他の資産		
投資有価証券	3,499	3,710
長期貸付金	7	9
繰延税金資産	1,020	833
その他	249	243
貸倒引当金	△61	△59
投資その他の資産合計	4,716	4,736
固定資産合計	33,669	32,888
資産合計	59,038	59,420

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,232	3,851
短期借入金	190	75
未払金	615	791
未払法人税等	141	313
未払消費税等	198	172
賞与引当金	367	367
役員賞与引当金	9	2
その他	215	184
流動負債合計	5,969	5,759
固定負債		
繰延税金負債	4	1
退職給付引当金	1,122	1,229
役員退職慰労引当金	36	19
その他	188	94
固定負債合計	1,351	1,344
負債合計	7,321	7,103
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,907	5,907
資本剰余金	4,728	4,728
利益剰余金	40,968	41,670
自己株式	△289	△289
株主資本合計	51,314	52,016
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	224	108
その他の包括利益累計額合計	224	108
少数株主持分	178	192
純資産合計	51,716	52,317
負債純資産合計	59,038	59,420

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	21,654	23,813
売上原価	18,462	20,204
売上総利益	3,191	3,609
販売費及び一般管理費		
販売運賃	1,049	1,165
役員報酬及び給料手当	464	462
貸倒引当金繰入額	13	0
賞与引当金繰入額	109	129
退職給付引当金繰入額	67	63
その他	437	412
販売費及び一般管理費合計	2,143	2,234
営業利益	1,048	1,374
営業外収益		
受取利息	19	23
受取配当金	20	23
受取賃貸料	27	29
還付加算金	41	0
雑収入	17	13
営業外収益合計	127	91
営業外費用		
支払利息	10	4
固定資産処分損	27	40
雑損失	11	11
営業外費用合計	49	57
経常利益	1,125	1,408
特別損失		
固定資産処分損	148	—
減損損失	1	—
会員権評価損	5	—
会員権売却損	—	1
投資有価証券評価損	3	5
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	12	—
特別損失合計	171	6
税金等調整前四半期純利益	954	1,402
法人税等	144	532
少数株主損益調整前四半期純利益	810	869
少数株主利益	17	14
四半期純利益	793	854

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	810	869
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△172	△115
その他の包括利益合計	△172	△115
四半期包括利益	638	753
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	621	739
少数株主に係る四半期包括利益	17	14

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	954	1,402
減価償却費	1,258	1,304
減損損失	1	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	12	—
投資有価証券評価損益(△は益)	3	5
会員権評価損	5	—
会員権売却損益(△は益)	—	1
固定資産処分損益(△は益)	176	40
引当金の増減額(△は減少)	130	82
受取利息及び受取配当金	△40	△47
支払利息	10	4
売上債権の増減額(△は増加)	△6,318	△1,724
たな卸資産の増減額(△は増加)	△455	490
仕入債務の増減額(△は減少)	1,310	△380
未払消費税等の増減額(△は減少)	139	△25
その他	689	△107
小計	△2,120	1,047
利息及び配当金の受取額	42	42
利息の支払額	△11	△4
法人税等の支払額	△44	△125
法人税等の還付額	2,873	34
営業活動によるキャッシュ・フロー	739	994
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△6	△3,306
定期預金の払戻による収入	2,500	—
有形固定資産の取得による支出	△3,690	△634
有形固定資産の売却による収入	3	1
有価証券の取得による支出	△3,599	△1,100
投資有価証券の取得による支出	△205	△609
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	2,800	3,196
その他	△7	△24
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,205	△2,477
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△115	△115
自己株式の取得による支出	△14	—
配当金の支払額	△250	△154
少数株主への配当金の支払額	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△380	△269
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,846	△1,752
現金及び現金同等物の期首残高	5,921	4,021
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,074	2,268

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	鉄鋼関連事業	レンタル事業	物流事業	エンジニアリング事業	
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	20,745	212	152	544	21,654
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	14	3	1,085	270	1,374
計	20,760	215	1,238	815	23,028
セグメント利益又はセグメント損失(△)	926	44	69	△45	994

2 報告セグメントごとの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する情報)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	994
セグメント間取引消去	53
第2四半期連結損益計算書の営業利益	1,048

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	鉄鋼関連事業	レンタル事業	物流事業	エンジニアリング事業	
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	22,913	226	168	505	23,813
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	32	2	1,208	341	1,585
計	22,945	228	1,377	847	25,399
セグメント利益又はセグメント損失(△)	1,257	47	60	△17	1,347

2 報告セグメントごとの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する情報)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,347
セグメント間取引消去	26
第2四半期連結損益計算書の営業利益	1,374

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

当第2四半期累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

該当事項はありません。

[ご参考]

業績比較

平成23年11月4日

1. H23年度上期 個別業績

(1) 損益比較

(単位:百万円)

	22年度上期	23年度上期	増減	
売上高	19,855	22,080	+	2,225 販 価 +6.1%
営業利益	915	1,212	+	297 売上数量+4.9%
営業外損益	72	30	▲	42 売上高 +11.2%
経常利益	987	1,242	+	254
特別損益	▲170	▲6	+	163
当期純利益	732	774	+	42

(2) 経常利益増減要因

(単位:百万円)

増加要因		減少要因	
① 販売数量の増加	24	① 製造コストの上昇	1,528
② 販売単価の上昇	1,558	② 販売運賃の増加	113
③ 製造コストの低減	342	③ 営業外収益の減少	33
④ 一般管理費の減少	13	④ 営業外費用の増加	9
計	1,937	計	1,683
増減合計		+ 254	

2. H23年度上期 連結業績

(1) 連結損益計算書

(単位:百万円)

	22年度上期	23年度上期	増減	
売上高	21,654	23,813	+	2,159
売上原価	18,462	20,204	+	1,741
販売費及び一般管理費	2,143	2,234	+	91
営業利益	1,048	1,374	+	326
営業外収益	127	91	▲	36
営業外費用	49	57	+	7
経常利益	1,125	1,408	+	282
特別利益	-	-	+	-
特別損失	171	6	▲	164
税金等調整前純利益	954	1,402	+	447
法人税等	144	532	+	388
少数株主利益	17	14	▲	2
当期純利益	793	854	+	61

(2) 連結キャッシュフロー(CF)

(単位:百万円)

	23年度上期	(前年度比)
I. 営業活動によるCF	994	+ 254
II. 投資活動によるCF	▲ 2,477	▲ 271
III. 財務活動によるCF	▲ 269	+ 111
IV. 増減額	▲ 1,752	+ 94
V. 現金・同等物の期首残高	4,021	▲ 1,899
VI. 現金・同等物の期末残高	2,268	▲ 1,805

(3) 貸借対照表

(単位:百万円)

資産の部				負債の部			
	個別	連結	(前年度比)		個別	連結	(前年度比)
流動資産	25,739	26,532	+ 1,164	流動負債	7,167	5,759	▲ 210
当座資産	19,088	19,642	+ 1,684	支手及び買掛金	3,190	3,851	▲ 380
棚卸資産	6,418	6,581	▲ 490	短期借入金	2,014	75	▲ 115
その他	232	308	▲ 29	その他	1,962	1,832	+ 285
固定資産	32,746	32,888	▲ 781	固定負債	1,237	1,344	▲ 7
有形固定資産	27,127	28,020	▲ 792	純資産の部	50,081	52,317	+ 600
無形固定資産	122	130	▲ 9	株主資本	49,975	52,016	+ 701
その他	5,496	4,736	+ 20	資本金	5,907	5,907	+ -
				資本剰余金	4,728	4,728	+ -
				利益剰余金等	39,339	41,380	+ 701
				評価換算差額等	106	108	▲ 115
				少数株主持分	-	192	+ 13
資産	58,486	59,420	+ 382	負債・純資産	58,486	59,420	+ 382

3. H24年3月期 連結・個別業績予想

(単位:百万円)

	個別	(前年度比)	連結	(前年度比)
売上高	44,300	+ 6,352	48,100	+ 6,546
経常利益	1,700	+ 470	2,100	+ 593
当期純利益	1,000	+ 187	1,200	+ 261